

公社等外郭団体に関する情報公開

団体名	株式会社 幕張メッセ	県所管課	商工労働部経済政策課
代表者	代表取締役社長 今清水 浩介	電 話	043-223-2733
所在地	千葉県美浜区中瀬2-1		
電 話	043-296-0001		
設立年月日	昭和61年4月30日		
ホームページ アドレス	https://www.m-messe.co.jp/		
事業内容	内外商品等の見本市、展示会の企画、誘致及び開催 国際・国内会議及び文化、スポーツ等各種催物の企画、誘 致及び開催 展示場、イベントホール、会議場及びこれらに附帯する施 設の賃貸及び管理運営		

1 出資等の状況(R3.4.1現在)

(単位:千円)

資本金(又は出捐金)	4,000,000
------------	-----------

出資(出捐)者	出資(出捐)額	出資(出捐)割合	出資(出捐)順位	備考
千葉県	1,000,000	25.0%	1	
株式会社日本政策投資銀行	800,000	20.0%	2	
千葉市	500,000	12.5%	3	
日本製鉄株式会社	120,000	3.0%	4	
東京電力エナジーパートナー株式会社	100,000	2.5%	5	
東京瓦斯株式会社	100,000	2.5%	5	
東日本電信電話株式会社	100,000	2.5%	5	
JFEスチール株式会社	100,000	2.5%	5	
一般社団法人日本自動車工業会	100,000	2.5%	5	
千葉県中小企業団体中央会 他87社	1,080,000	27.0%		

2 社員(会員)の状況(社団法人のみ)(R3.4.1現在)

社員総数	
------	--

区 分		社員数	主な者
内 訳	地方公共 団体		
	県		
	市町村		
	国又は政府系機関		
	民間法人		
	その他		

3 財務状況

(1)貸借対照表から

(単位:千円)

項 目	平成30年度	令和元年度	令和2年度
総資産	8,945,797	8,778,926	8,268,882
負債	1,371,376	1,025,543	672,736
(うち有利子負債)	309,000	180,000	60,000
純資産	7,574,421	7,753,383	7,596,146
累積損益(利益剰余金)	3,574,421	3,753,383	3,596,146

(2)損益計算書から

(単位:千円)

項 目	平成30年度	令和元年度	令和2年度
総収入 (=売上高+営業外収益+特別利益)	5,016,369	4,958,491	2,673,559
経常損益	412,866	283,896	-149,520
当期損益	262,510	178,961	-157,237
減価償却前当期損益	630,880	571,301	181,066

4 年度末借入金残高等の状況

(単位:千円)

項 目	平成30年度	令和元年度	令和2年度
借入金残高	309,000	180,000	60,000
うち県からの借入金残高			
うち県以外からの借入金残高	309,000	180,000	60,000
うち県の債務保証又は損失補償の対象となる借入金残高			

一般社団・財団法人及び公益社団・財団法人(特例法人(従来の公益法人)含む。)については、次のとおり公益法人会計基準に読み替える。

貸借対照表 純資産 正味財産合計

利益剰余金 一般正味財産

損益計算書 損益計算書 正味財産増減計算書

総収入(=売上高+営業外収益+特別利益) 総収入(=経常収益+経常外収益+当期指定正味財産増加額)

経常損益 当期経常増減額

当期損益 当期一般正味財産増減額

累積損益(利益剰余金)については、基本金又は基本財産に相当するものを除いたものとなる。

5 県の財政支出の状況

(1) 委託料・補助金等

(単位:千円)

項目	目的、内容、算出根拠等	平成30年度	令和元年度	令和2年度
委託料	日本コンベンションセンター 国際展示場の管理運営	1,512,000	1,526,000	1,540,000
補助金・交付金・ 負担金				
合計		1,512,000	1,526,000	1,540,000

(2) その他

(単位:千円)

項目	目的、内容、算出根拠等	平成30年度	令和元年度	令和2年度
利子補給				
税の減免額				
出資金				
貸付金				
上記以外のもの				
合計		0	0	0

(3) 委託料のうち再委託に関するもの

(単位:千円)

項目	目的、内容、算出根拠等	平成30年度	令和元年度	令和2年度
委託料のうち再委託したもの	警備、清掃、電気・機械設備 保守運転業務等	644,240	648,522	652,647
再委託のうち入札によるもの	警備、清掃等	481,053	482,153	482,547
再委託のうち随意契約によるもの	電気・機械設備保守運転 業務等	163,187	166,369	170,100

6 役職員の状況

(1) 役職員数(各年度7月1日現在)

(単位:人)

項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度
常勤役員数	7	7	7
うち県退職者	2	2	2
うち県派遣職員			
常勤職員数	47	47	47
うち県退職者	3	2	2
うち県派遣職員	4	4	4

(2) 役職員の平均年収等の状況

項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度
役員数(県派遣又は県OB)	6.8人(2人)	7人(2人)	7人(2人)
役員平均年齢	62歳	63歳	62歳
平均年収(千円)	12,353千円	12,000千円	11,829千円
職員数(県派遣又は県OB)	47人(7人)	47人(7人)	47人(7人)
職員平均年齢	44.2歳	45.3歳	46.5歳
平均年収(千円)	7,841千円	7,594千円	7,865千円

対象は常勤の役職員です。(嘱託職員、日々雇用職員は除く。)

役職員数は実人員を記入してください。

平均年収は、役員報酬や給料等総人件費を実人員で除して算出すること。

役職員数は実人員を記入してください。

令和3年度中の毎月1日現在の役職員数を合計し12か月で割り、小数点第2位を四捨五入してください。

例:4月の役員数が5名、9月末で1名減り、年度末は4名であった場合は4.5人となります。

令和3年度の平均年収については推計となる。

7 改革方針の取組状況

改革方針(区分)	自立的な経営改善
改革方針(概要)	幕張メッセでの2020年東京オリンピック・パラリンピック競技実施を好機ととらえ、競技実施施設としての知名度を生かして、県と一体となって積極的な営業誘致活動を行い、施設の稼働率の向上に努める。 イオンモール幕張新都心開業等による効果を踏まえ、アフターコンベンションにも資する街の賑わいづくりのため、これまで以上に地域との連携を強化する。
取組状況	令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、多くのイベントが中止や規模縮小となった。 幕張メッセでは、国や県の方針、関連業界の感染防止に係るガイドライン等を踏まえた感染拡大防止対策を実施しており、国際展示場では、人的距離の確保ができること等から資格試験での利用が増加した。また、「スーパーマーケットトレードショー」や「FOODEX JAPAN」などの例年開催されている展示会や、新規に「フードテックジャパン」が開催されたが、延べ利用ホール数は過去最高であった昨年度(令和元年度)を7割近く下回る846.0ホールとなった。 また、イベントホールでは、「LDHライブオンライン」など国内著名アーティストによる無観客配信ライブ、国際会議場では、資格試験、国内学会である「日本医学検査学会」等が開催されたが、年間の稼働率はイベントホールで30.4%、国際会議場で15.9%となった。 幕張新都心の中核施設として、街全体の賑わいの創出に向け、自主企画事業における地元企業との協力や、来場者が近隣の宿泊施設や商業施設をより多く利用するよう、これら施設との連携を強化するなどし、できる限りアフターコンベンションにも資する街の賑わいづくり及び地元への経済効果が高まるよう努めている。
その他(特記事項等)	

*平成28年4月に千葉県行政改革推進本部で決定した改革方針とその取組状況を記載してください。